



プ
ー
ル
サ
イ
ド
chapter 2

Poolside

R-18
Adult
only



どうして...

こうなつて
しまったの
だろうか...



お前ら
二人は
犬だ



しっかり奉仕
出来る様に
調教してやる

これは叶わぬ
願いを求めた
罰なのだろうか...





ああ
そうか
そうか
気に入って
くれて
何よりだ

耐え抜いたら
お友達のことは
勘弁してやるよ

電圧上げるわ

いい声だ

お前の様な
上玉が引つかかって
くれて

俺はツイてるわ

なんで…

なんでこんな…





ふう
よかったぜ

お前が
俺のおもちゃに
なってる間は
真琴には
手を出さないで
いてやるよ



お前は
幸せ者だな
お前

お前が
俺のおもちゃに
なってる間は
真琴には
手を出さないで
いてやるよ

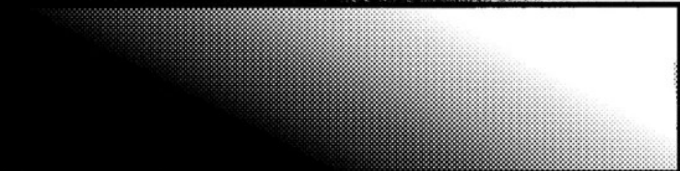


聞こえてるか？

なあ真琴



こんな
身を挺して
守ってくれる
友達がいて





ふう…

とは言いつつ…
滞のやつ
なかなか最後まで
堕ちねえな

最初は簡単に
て名付けられると
思っていたが…

なかなか強情な
女だぜ…



やり方を変えるか…
しかし
どうやる…

珍しいわね
深刻そうな顔して



やっほー
ひむろ
検室ちゃん

咲喜
姐さん
…と
大門さん

ラク



絶賛調教中

友達の分も
自分が陵辱を
受けるって
言うもんでね

お望み通り
休み無しで
可愛がってますよ

桜室ちゃんが
お願いを
聞いてあげる
なんて珍しい

随分その娘に
入れ込んでるのね

お友達を庇って
一身に受けるなんて
素敵じゃない

いや

滞はね
口では抵抗して
いるけど

調教部屋に
連行する時や
これから
犯される時には

しっかり濡れて
やがんですよ

身体は
DMの癖に

真琴を庇うことで
自分に言い訳を
してんすよ



確かに上玉だな

俺の女にしたい
くらいだ

ガッ



ワクワクしますね
あの強気な性格が
ちんぽ狂いの
肉便器に堕ちる
ようになるのが

まあ
売り物に
ならないなら
俺の女にして
一生飼ってやっても
いいすけどね



何?

それって私より

あの子たちの方が
魅力的って
言いたいわけ?



まさかっ
お前の次に
いい女って意味だ

わかるだろう?



もうっ!!

当然よねっ月

ニョッ!!



まったく
痴話喧嘩は他所で
やれよな

アンタらといると
こっちも頭おかしく
なるぜ

桧室ちゃんっ!?
あんまりだわっ



俺は悪党にも
美学ってのは
大事だと
思うんだよ?

自分より
格下を利用する
のは小物だ

大物は
欲望の為なら
格上も組織も
全て利用する



……



フハハハハ

いいぞお
桧室お

誰にも
物応じない
その態度
相変わずで
安心したぞ

さすが俺の
見込んだ男だ



大門さんの
美学には
いつも敬服
しますよ

この施設を
運営出来るのも
大門さん達の
おかげっス

うーむ
もつと嘘を
包み隠す術を
学ぶべきだな

だが
伸び代がある事は
いい事だ



おう
発明家

新しいおもちゃ
用意してきたのか?



もちろん

早く
お姉ちゃん達
に使いたいよ



じゃあ今回は…



それに比べて
見ろ
ラクを

それって
褒めているの？

この若さで
外道を
極めている

大した
やつだよ



みんなであげましょう

これが
まー君の
新作ねえっ

二人ともとっても
可愛いわー

持ってくるのい
苦労したよっ

名付けて

“相思相愛椅子”

いん

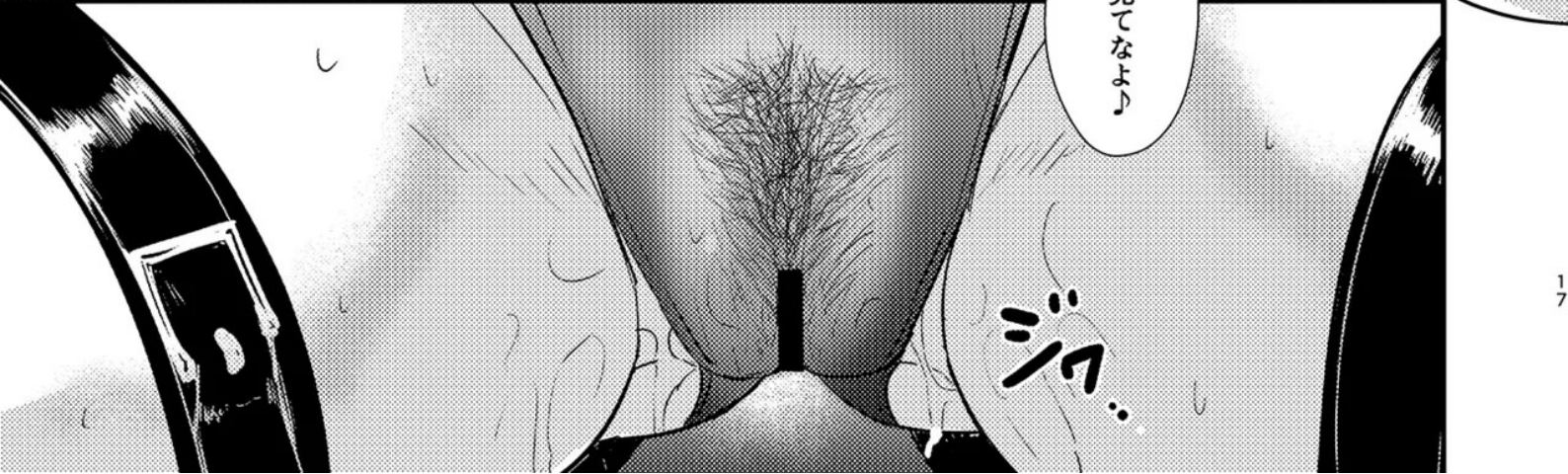


特に変わった
仕掛けも
無さそうだが？

これでどう二人を
調教するつもりだ？

こういう拷問は
機械の仕組みより
発想がモノを
言うんだよっ

まあ見てなよっ





徹底的に
犯されるの

あなた方
片方はこれから
肉便器になって



初めまして
滯は咲喜
私良く
仲良く
しましょっ

これから
あなた達
どうなるか
わかる？



片方の暴れて
繋がっている拘束具が
しまる感覚

大切なお友達が
汚されていく
様子をすぐ後ろから
感じてもらうわ

あげる悲鳴と
喘ぎ声



すぐ後ろから
感じる体温

苦しむ様子を
たっぷり感じ
取って欲しいわ

ジッ...



今日はあなたに
泣いてもらうわ

準備はいいかしら？
真琴っ



だから
頑張り屋さんの
滞には
ご褒美を
あげないとね

滞ばかり
虐めちゃ不公平
だものね

聞いているわよ
いつも真琴を
庇っている
そうじゃない？



俺ボーイッシュ
の方が好み
なんだよね

真琴はお預けを
喰らったからな

どこから犯す？



たっぷり
可愛がってやる
からな



いやあああつ

アッ



へへ 今日は徹底的に 虐めていいって 聞いているからよ

んぶうっ

ちゅぽ

ううっ

ふー ちゅぽ

興奮するぜ

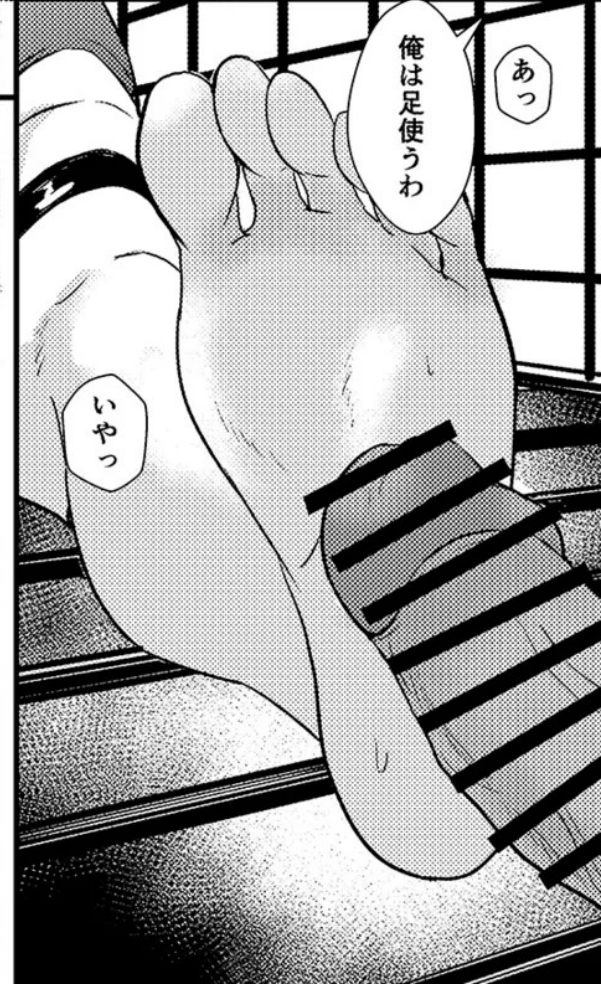
ちゅぽ

ちゅぽ



太ももすべすべだね ちんぽ擦り付けると 気持ちいいっ

ちゅぽ



俺は足使うわ

あつ

ちゅぽ



んんっ

おっおっ 出るっ

おほおっ

ちゅぽ

ちゅぽ

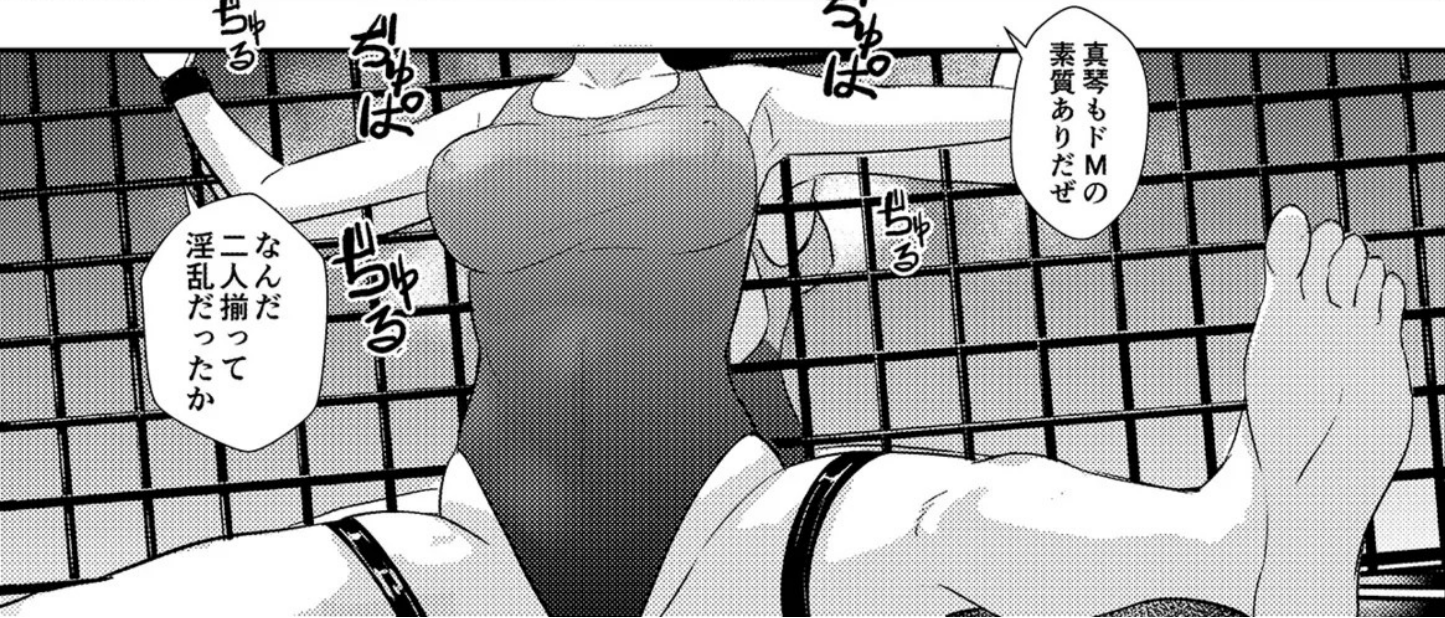
ちゅぽ



聞こえるかしら？
真琴が美味しそうに
ちんぽを頬張る音が

へー真琴のやつ
なかなかいい顔
するじゃないか

どう？
真琴の必死で
もがく様を
感じるでしょ？



真琴もドMの
素質ありだぜ

なんだ
二人揃って
淫乱だったか

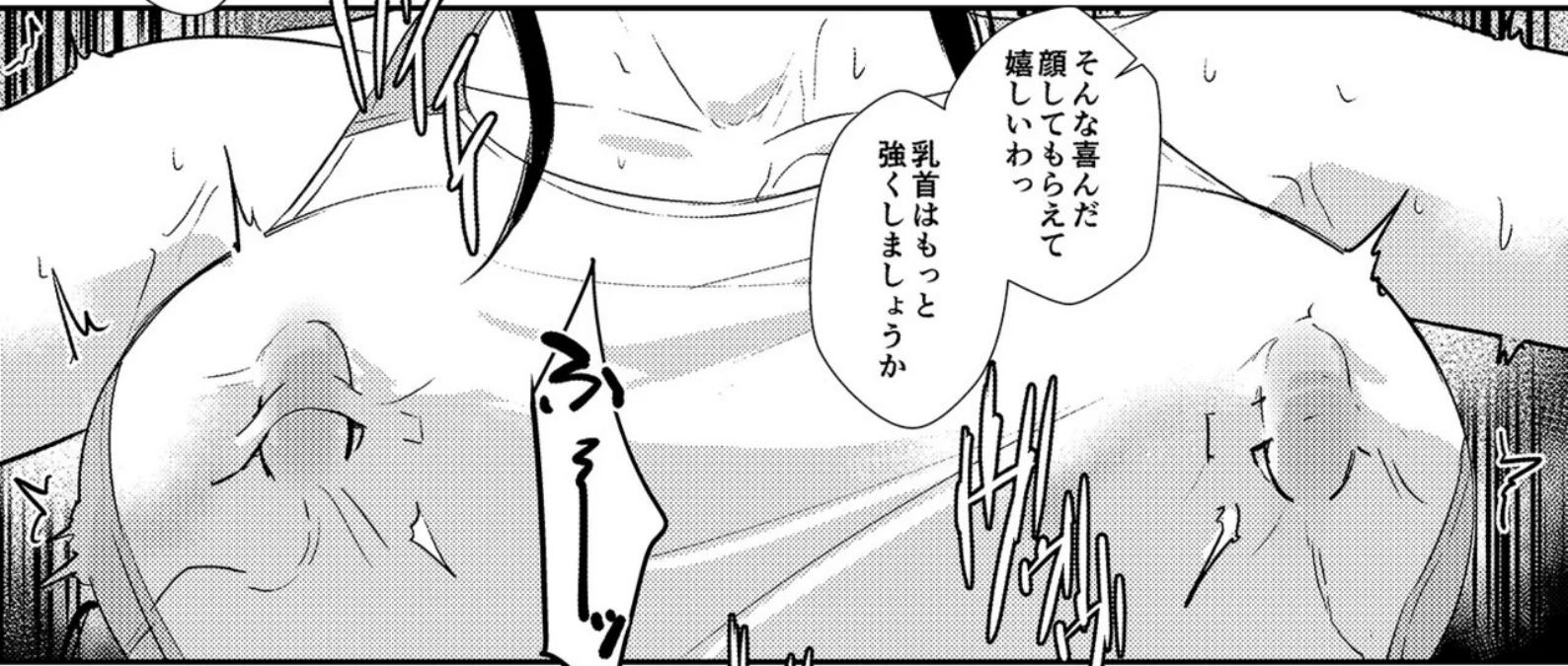


大好きな真琴の
喘ぎ声を聞きながら
イけるように

一生懸命
考えたのよ?

お友達が後ろで
陵辱されてるのを
オカズに

いっぱい
イッてね



そんな喜んだ
顔してもらえて
嬉しいわっ

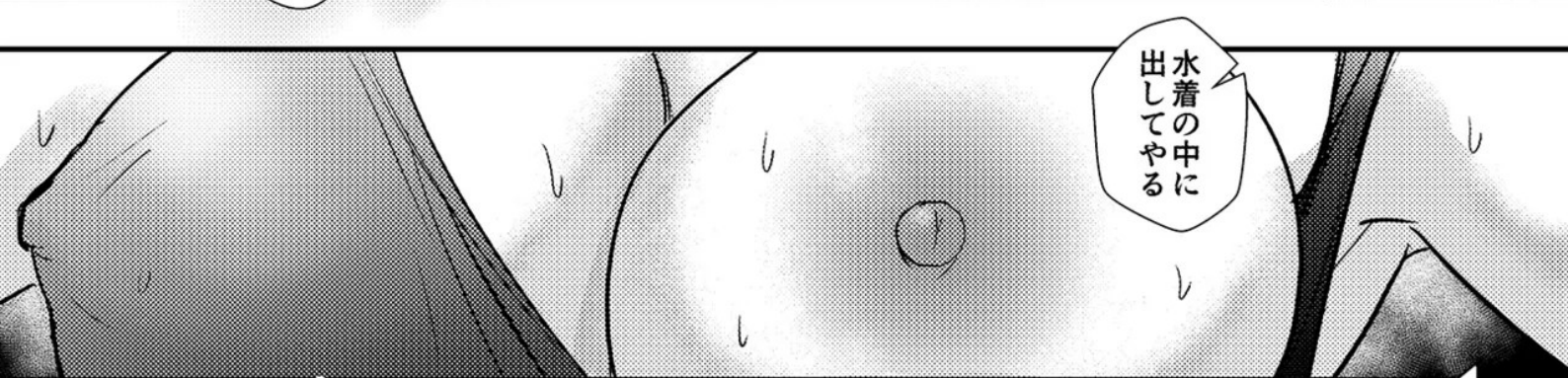
乳首はもっと
強くしましょうか



おまんこと
クリトリスは
どう?

流石に膣に
3つは入れすぎ
かしら?

お尻の穴の中
感じてくれると
嬉しいわ





はははっ

もはや
芸術作品だな

あ
あ

水着だから
いくら精液で汚れても
いいな

しばらく
このまま着させて
おっか

毎日犯しても
飽きねえわ



うわあ
イカ臭え女とか
ないわ

いや俺は
興奮するけど？

滞ったら
そんなに
我慢して

困った子…

ほうら
これでイける
でしょ？

さあイって
後ろの真琴をオカズに
イクのよっ！

ほらほら
そんなに気持ちいい？



さあちゃんと
後ろの真琴を
感じて

我慢しないで？

ひゃあ
んんっ
ああ



ああっ
気持ちいいっ
最高のオナペット
だな真琴

太ももに
ぶっかけてやるっ

想像して
あげて



見る顔面は
俺の精液で
いっぱいだ

ほらいって
汚された真琴を
後ろで
感じながら

はははっ

水着の中も
いっぱいだな

俺も中に
出しちゃおっと

ひゃめて…

きたなっ

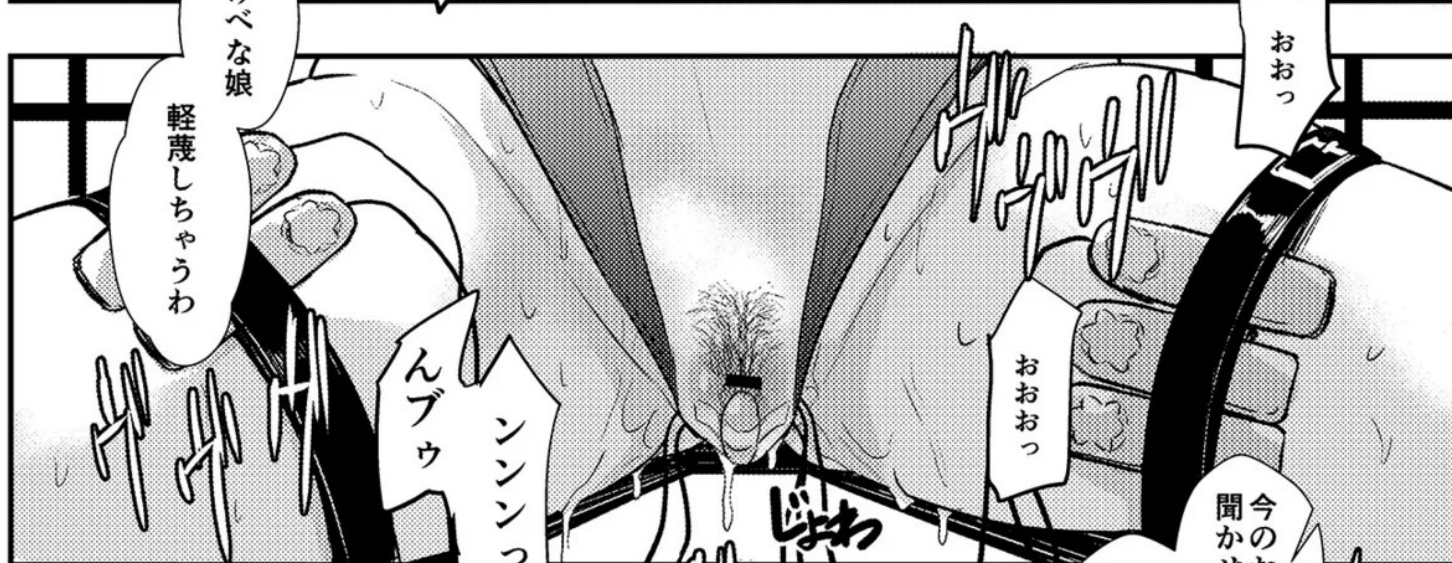


よく出来ました

滞ったら
陵辱された
真琴でイっちゃう
なんて

ふぐうっ

アッ



おっ

すげべな娘
軽蔑しちゃうわ

んブウ

おっおっ

今のお気持ち
聞かせて?

言いたい
ことあるん
じゃない?



あっ

あっ

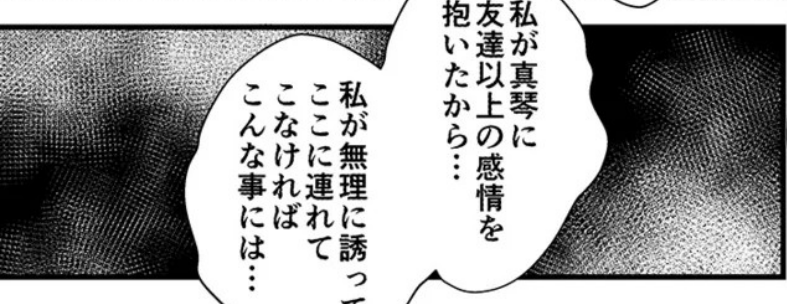


真琴の方も
水着んなか
ザーメンで
溢れかえてるぜ

性奴隷に
一歩近づいたな
真琴



でも真琴はだめ
私が真琴を
巻き込んだから...



私が真琴に
友達以上の感情を
抱いたから...
私が無理に誘って
ここに連れて
こなければ
こんな事には...



もうやめて...
なんでも言う通りに
するから

私を辱めたい
ならいくらでも
すればいい



ふはあ



だからっ

これ以上私の
友達を傷つけないで

お願いします…

真琴の分まで

あなたたちの
奴隷にでも
何でもなっ
てあげるから

滯…



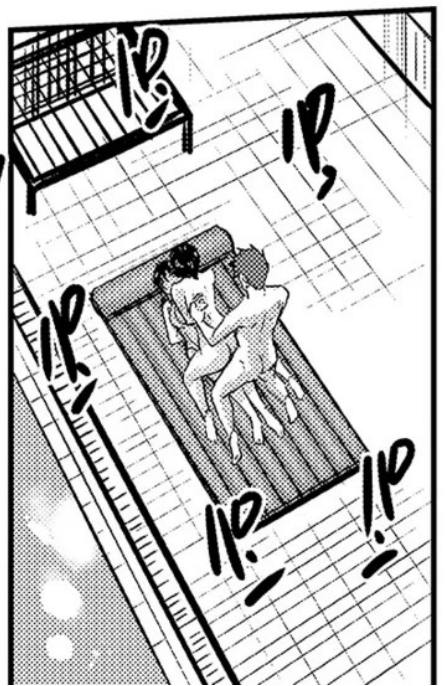
何美談に
しちゃおうと
してんの？

俺が求めているのは
欲望のまま
墮落したお前の
姿なんだよ



どうする
桧室ちゃん？

だめだっ





興奮して
きたか？
滞

お前が素直に
なるまで
真琴の陵辱は
続くぞ

んんっ



おらおら
見せつけられてる
気分はどうよ？

ふざーっ

ズンズン

ズッ



悔しくねえか？
ちんぽに親友を
寝取られてよ？

まあお前が
強情を貫くなら

真琴には女としての
喜びを身体中に
教え込んで
やるまでだ

あんっ

あんっ

おっ

おんっ

いやあっ

真琴っ

ぽん
ぽん
ぽん

ぽん
ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

んっ

ぽん
ぽん

ぽん

ぽん
ぽん

ぽん

ぽん

ぽん
ぽん
ぽん

ぽん





私をっ

私をっ

もうやめて…

あっ♡♡

ぽん

ぽん

私をっ
やるなら
私をやって

真琴が
壊れちゃう…

あっ♡♡

あー

あー

ぽん

あっ♡♡

あっ♡♡

あっ♡♡

私をっ

あっ♡♡



チンチンで
よがっている
真琴の姿なんてっ



ぱん

見たくないっ

見たく
ないよっ

ぱん

ん

ぱん

ぱん

あ



チャンスと
与えてやる

あ



わかったか？
お前には
選択肢なんて
ねえんだよ



今日から
お前が真琴を
調教しろ

もちろん
断っても
いいぜ？

ふ

ふ

は

は

は

まあ
その場合は
真琴はちんぽで
調教されるがな

期待してるぞ
滞

ホオ



好きなだけ
愛し合ってくれ

少し狭いが
これくらいの方が
ちようどいいだろ？

喜びの二人の
愛の巣だ

はっ

はっ

んっ

んっ

はっ

滞っ

ん

ん

ん



これ以上

真琴を
アイツらに...

はっ

ん

ん

はっ

はっ

ん



渡さない...

ん

ん

ん

はっ

ん



だめ
今晚は私が
好きにしたいの

すま

ん

は

ん
ん

ひゃあ♡

じゃないと
またアイツらに
汚されちゃうっ

ん

ん

あいつらに
汚されたまま
なんていや

お願い

私を感じて
イッて

ん

ん

ん

あっ
っ

ん

ん

ん

ん

ん



嬉しい
真琴が
私の手で
感じてくれている

真琴が私の
ために応えて
くれているっ

もっと
もっと欲しいっ

んああっ
おっぱい
やあっばい

ん

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ん

はぁ

はぁ



渡さないっ…

はぁ…

はぁ…

せつ

せつ

絶対っ

アイツら
なんかにつ

真琴っ
お願い

私もしてっ

せつ

せつ

ふああっ

はぁ…

はぁ…

はぁ…

はぁ…

せつ

はぁ…

せつ

せつ

はぁ…



んっ
真琴っ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

滞っ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ
気持ちいいっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ



イクっ

感じっ

もっ

あつダメっ

はっ
ちゅる

ちゅる

ちゅる

もっと
私を感じてっ

気持ちいいよお
真琴お

イクっ

いっちやうっ

はっ

ちゅる

イクっ

ちゅる

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

ちゅる





やれば出来る
じゃねえか

はま

はま

はま

たっぷり
楽しめたか?

さすが俺が
見込んだ女だ



なあ?
滞

が

どうだ?
親友を欲望のまま
弄んだ気分は?

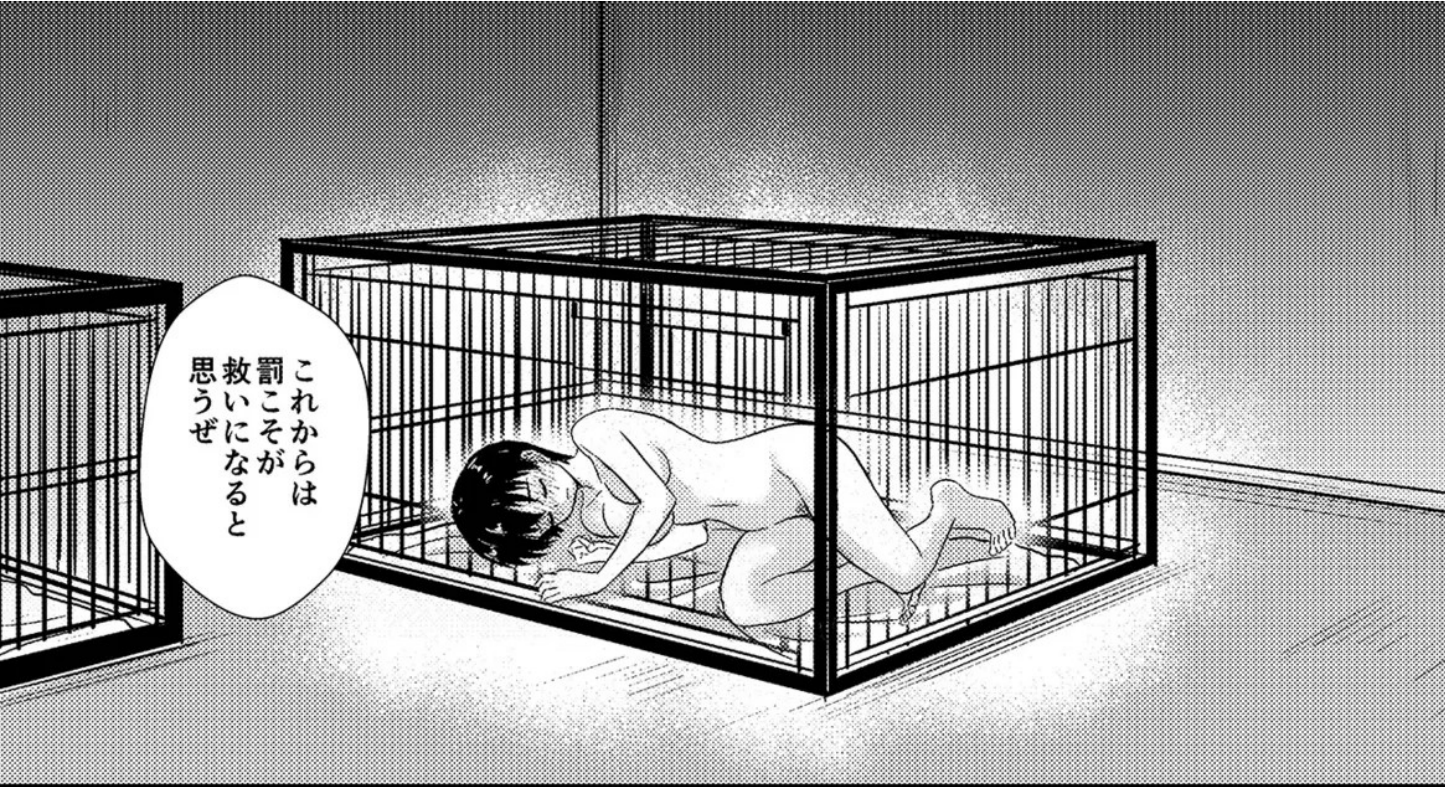
...

スタ

すぐに
ちんぽ啜える
ことが好きに
なるさ

ギ

今度は俺たちを
楽しませて
もらう



これからは
罰こそが
救いになると
思うぜ



ガイ

スタ

スタ



行こうか



たっぷり
可愛がってやる

アッ

あとがき

お久しぶりです。銀茶です。

プールサイドの続編をようやく描くことができました。これまで応援してくださった方々に感謝です。

最初にプールサイドを描いてから既に2年近く経過してしまいました。

その間に、プロとしてデビューして、編集さんとのやり取りの中で漫画制作の力になる事を色々学びました。

既にネームは早い段階で出来ていたのですが、70ページ超えたつたり、シーンに物足りなさを感じたので、大筋のストーリーはそのままに

幾度となくネームを切り直しました。結果としてエロシーンを増やして前後に分けました。

なので、この話まだ終わってません(笑)

次回、調教師たちの本領発揮でさらに過酷な調教を二人に施します。

大門社長、今回何もしてないですしね…

調教師たちも元々考えてあったのをようやく絵に起こして形に出来てよかったです。

何はともあれ、さらに良くなる形で皆さんの元へ届けるよう頑張ります。

そして自身も満足出来るように形に出来ればと思います。

同人イベントも完全復活したようで、ますます頑張らねばと思います。

それでは皆様、良いお年をお過ごし下さい。

銀茶

発行：銀茶屋

発行日：2023年12月31日

印刷：栄光印刷

OR_05「プールサイド」 Chapter 2

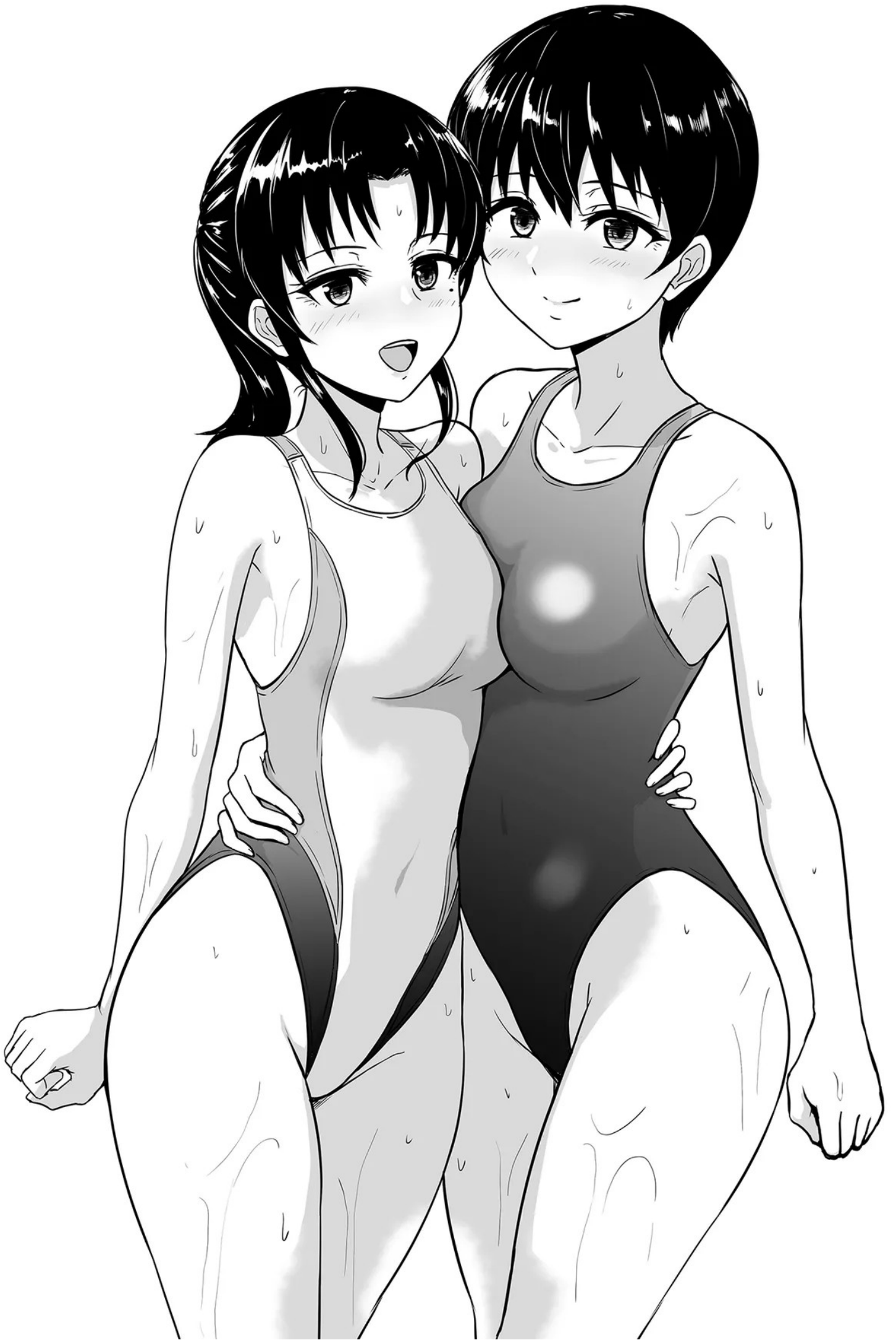
ginchaya2904@gmail.com

X

FANTIA

Pixiv





C103 Thank you!!

会場限定ペーパー

お寒い時期の中、スペー入までお越しいただき、ありがとうございます！
描きたいものは沢山ありますがゆっくりと進めていくつもりです。
もっと作品を増やしていければ
いいなと思っています。

来年はイラストの方にも
力を入れていきたいですね。
日々研究を重ねながら益々精進していく所存！
それでは良いお年を！

銀茶

